

H31年度の健幸都市づくり(我が事・丸ごと健幸プロジェクト2019)

誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らし続けられる健幸都市の実現に向け、行政や市民、地域、大学、企業、団体などあらゆる主体が「健幸」を”我が事”として意識し、各主体の連携を深め、様々な施策を“丸ごと”で進めていくことができるよう、平成31年度は、「まち」「ひと」「しごと」についてそれぞれ主に以下の取組を総合的に実施していきます。

まちの健幸づくり

① 健幸フェアの開催

草津川跡地公園の賑わい創出と健幸づくりの発信を図るため、健幸フェアを引き続き開催し、より効率的・効果的な開催方法を検討。

② 健幸都市くさつの広報・啓発

駅から徒歩による移動を選んではしまうインパクトのあるポスター・横断幕等を駅前やデッキ等に掲示するなど、健幸都市くさつの広報・啓発を徹底。

③ 健幸づくり推進拠点の整備

健康情報や自らの健康状態について知りつつ、地域住民等と交流を図りながら自らの健幸づくりを進めていくことができる拠点を整備。H31年度は①市役所②ロクハ荘・なごみの郷にて展開

ひとの健幸づくり

① 「草津・たび丸Kitchen」を活用した食育推進

野菜の摂取量の増加を目指し、外部委託等による草津市産の野菜等を活用したレシピの拡充や、「草津・たび丸Kitchen」を活用した食育推進の啓発を展開。

② フレイル予防・認知症施策の推進

フレイル予防の観点から、新たに介護予防拠点等での健康教室や地域サロン等への専門職種の派遣を実施。また、認知症施策の推進のための条例の制定の検討を開始。

③ 地域共生社会に向けた取組

地域住民等が主体的に地域課題の解決を試みることができ、地域のさまざまなづくり、支え合いの仕組みの構築に向け、市民等の意識啓発のための地域共生社会に関するセミナー等を実施。

しごととの健幸づくり

① 草津市版ヘルスツーリズムの実施

本市特有の地域資源の掘り起しを行い、「健幸」をテーマにした本市独自のヘルスツーリズムとして体験型旅行商品の開発を行い、併せて自走化に向けた検討を実施。

② 健康経営の普及促進

健康経営を実践している企業・法人を顕彰する「健康経営優良法人認定制度」の認定を受け、企業・法人を増やすため、市内の中小企業等に対し、健康経営の導入を啓発。

③ UDCBK 社会実験準備事業

産学公民の多様な主体の連携と交流を図り、都市がもつ課題を我が事として考える機運を高め、浮き彫りになった課題を解決に結びつける社会実験準備事業等を実施。

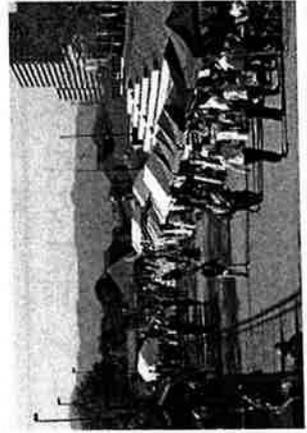
まちの健幸づくり



①健幸フェアの開催

- 健幸フェア(※)を引き続き開催するとともに、より効果的・効果的な開催の検討を行います。
- H31年度は今年度同日開催した健幸ウォークを融合し、ウォーキング要素も取り込んだイベントとします。

※健幸に過ごすヒントや知識を学び健幸づくりのきっかけとしてもらうことを目的に、健康拠点である草津川跡地公園において開催するイベント



(健幸フェア)

②健幸都市くさつの 広報・啓発

- 駅からの移動手段として思わず「歩く」ことを選択してしまうインパクトのあるポスター・横断幕等を、駅前やデッキに掲示し、徒歩移動を選択してもらうことで、歩く習慣の定着や生活習慣病の予防につなげます。
- 併せて、「健幸都市くさつ」の啓発も進め、草津市に住む人も訪れる人も健幸になれるまちの実現を図ります。



(イメージ)

③健幸づくり 推進拠点の整備

- 健康情報や自らの健康状態を知りつつ、地域住民等と交流を図りながら自らの健幸づくりを進められる拠点を整備します。
- H31年度は、**①市役所**(1階市民サロン)、**②なごみの郷**、**③長寿の郷**ロクハ荘について、各施設の特性に応じて、健康測定、情報発信、健幸コンシェルジュ、市民活動・交流等の機能を組合わせた健幸づくりのための身近な拠点を整備を進めます。



(イメージ:まちの健康研究所あし・た(柏市))



①「草津・たび丸kitchen」を活用した食育推進

- 外部委託や高校等との連携により、草津市産の野菜等を活用したレシピの拡充を図ります。
- 併せて、草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸kitchen」(※)を活用し啓発を充実させていくことで、野菜摂取量の増加及び食育の推進につなげます。



※市民の食への関心を高め、栄養バランス確保や野菜摂取量増加を目的に開設した草津市公式のクックパッドサイト

②フレイル予防・認知症施策の推進

- フレイル(※)予防の観点に着目し、新たに介護予防抛点等での健康教室や、地域サロン等でのフレイル予防活動(専門職種の派遣)を実施します。
- また、草津市認知症施策アクションプランに掲げる「認知症があっても安心して生活できるまちの実現」を目指し、認知症施策に関する条例の制定に向けた検討を行います。



※高齢者の身体機能や認知機能が低下して、虚弱となった状態のことで、要介護予備軍とされている

③地域共生社会に向けた取組

- 地域住民等が主体的に地域課題を把握し解決を試みることができ、地域のさまざまなづくり、支え合いの仕組みの構築に向けて、地域共生社会に関するセミナーを開催します。
- 併せて、現在の地域支え合い運送への支援、社会福祉協議会による担い手育成講座への支援など、地域共生社会の実現に向け、推進します。





①草津市版ヘルス ツーリズムの実施

○ 「健幸」をテーマとしたヘルスツーリズム※を定着させ、健康増進や観光振興を図り、「健幸都市」としての魅力向上を図ります。

○ 平成30年度の実証事業を踏まえ、引き続き、本市特有の地域資源の掘り起しを行い、本市独自のヘルスツーリズムとして体験型旅行商品の開発を行い、併せて自走化に向けた検討を行います。

※旅行という
非日常的な中
樂しみの健康
で、健康増進
復元を図るも
の



②健康経営の 普及促進

○ 健康経営とは、従業員の健康管理を経営的視点で捉え、従業員の健康保持・増進の取組が組織の活性化や生産性の向上につながる、ひいては収益性を高めるものであるという考え方。

○ H31年度は、健康経営を実践している企業・法人を顕彰する制度である「健康経営優良法人認定制度」の認定を受ける企業・法人を増やすため、市内の中小企業等に対し、健康経営の導入を啓発します。



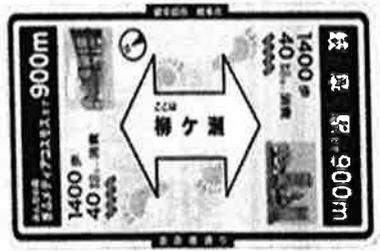
健康経営優良法人
Health and productivity



③UDCBK 社会実験準備事業

○ 産学公民の様々な主体が連携、交流し、都市が持つ課題について意見交換をして、その解決手段の発見につながる社会実験準備事業等を実施。

○ 平成31年度は、まちなかを楽しく歩ける路面標示の設置を目指し、市が包括協定を締結している大学の知的財産や人材、学生の力等の資源を活かし、大学と連携した「デザイン案や配置計画の作成を行い」ます。



(裏面表示の例：岐阜市)